

高校2年生保護者のための進学講演会

平成25年6月1日（土）、視聴覚室において高校2年生の保護者の方を対象に進学講演会が開催され、124名の保護者が参加されました。大井校長先生の『受験モードにいつなるの？「今でしょ！」』というユーモアのあるごあいさつで始まり、お二人の先生の熱い思い溢れるお話から、1年後に本格的に始まる受験に向けて保護者としての心構えを再認識し、まさに受験モードのスタートをきった一日となりました。

講演会内容

- I 『新課程入試に向けて』『110期生の取り組みと両国高校の進路指導』
講師：前高3学年主任・進路指導部 高澤昌利先生
- II 『進路実現力アップ！高2の今こそ』
講師：高2学年主任 南島正重先生

まず始めに高澤先生から、現高2生が数学と理科において先行実施されている新課程に伴う入試の変更点について説明がありました。特に理科については今後各大学の入試情報に注目していくこと、そして文系理系を問わず2年生のうちに、国・数・英の基礎固めをしていくことが大切であると強調されました。また、110期生の様子から、学校生活を充実させたものは進路結果も良好ということを具体的な数字を挙げてお話しされ、まさに受験は団体戦であり、Team 両国の力強さを実感することができました。

次に南島先生が、合格を勝ち取るために何が必要か、子どもの頑張りを親がどう支えるのか、アインシュタインの言葉を引用して、わかりやすくお話しされました。今は「多くの価値観に触れる」ことが大切であり、大学で何をさせたいのかを見据えた指導をされているという、112期生に対する先生方の想いや指導のスタンスをお聞きし、改めて親としての姿勢を考えさせられました。

「高2の今は両国高生としての学校生活を楽しむことが大事」との、お二人の先生の力強いお言葉に、安心して子どもを見守っていこうと思った保護者の方も多かったのではないのでしょうか。

保護者からのご意見・感想

- ・受験は団体戦であるというのは、この2月に受験を経験し、本当にそうだなと思います。全体での「やる」という熱気の中でまじめで純粋な青年たちが、どんどん力をつけていくのを実感しました。仲間たちのパワーはすごいものがあります。
- ・理数、文系に分けて細かく説明を聞く会もあって良いのでは、と思います。
- ・子どもと受験環境、流れを共有するため、年2回あってもよいのではないのでしょうか。
- ・親として迷うことも多く（高校生の扱い方）、受験生の親の行動について、ご指導下さると良いです。
- ・高澤先生のお話は直近の具体例に基づいた内容で、大変参考になりました。塾に行く前にやるべきことがある……全くその通りと納得しました。家に帰って子どもと話し合うべきトピックがたくさんありました。
- ・南島先生のお話では、当たり前前に思っていたことを改めて考え直す良い機会となりました。

*資料がわかりづらかった、兄弟の学校行事と重なる時期なので日程を考えてほしいなどのご意見も寄せられました。

＊大井校長先生のご挨拶



＊宝田会長のご挨拶



＊高澤先生のお話



＊南島先生のお話



＊司会の進学講演会副委員長 矢野さん



＊会場の様子



＊受付の様子



進学講演会委員の皆さん、
お手伝い理事の皆さん、
朝早くからお疲れ様でした！